

標記労働争議前報後ノ状況左記ノ通り

記

一 当業主側

前報後依然トシテ六名ノ職工ニヨリ作業ヲ繼續シ強硬ナル態度ヲ持シ嘆願書中解雇退職手當制定ハ多小承認スルニ及ニ其他ハ全部拒絶スルノミナラス争議解決解決後ト虽モ諸員單價ノ引下ケ等ヲ実行シ諒解セヤルモノハ解雇シ希望由リ新ニ雇入ル、横祿ニシテ陰険ナル策謀ヲ伺フ、其ノ真意全クナシ

二 労働者側

日時経過ト共ニ事業主ノ強硬ナル態度ニ労働者ハ不安ヲ感シ争議團本部ニ出席セサル者續出スル

傾向ナルヲ組合側ニ於テハ極力マシラ抑止シ表面強硬ヲ装ヒツ、アリシガ本月三日後記ノ如ク事犯ニ依リ應援團長山本善一所任ヲ晦シタルヲ以テ組合側ノ應援絶無トナリ單独事業主ト交渉スルコトヲ能ハサルヲ以テ組合本部ニ應援員ノ派遣方ヲ請ヒ紛糾労働ノ安田貞ノ素援ヲ得タリ而シテ比ノ上争議ヲ繼續スルコトハ不利ナリトシ前記日暮里署ニ調停方ヲ申立ミタル模様ナリ

八月二十七日午後七時三十分ヨリ日暮里町日暮里四一七松崎方及九月三日全町主。五依田重光方ニ於テ何レモ松尾糾弾演説會ヲ開催シ聴衆九。名乃重百三十名ニシテ相當氣勢ヲ昂ゲ全事散会セリ